

いわて女性の活躍促進連携会議

けんせつ小町部会 令和6年度 第1回会議

日時 令和6年6月12日（水）10：30～12：00

会場 トーサイクラシックホール岩手第3会議室

次 第

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 令和5年度の当部会の取組報告について

(2) 令和6年度の当部会の取組計画について

(3) あおり女性建設技術者ネットワーク会議への意見照会について

(4) 意見交換

4 その他

5 閉会

〈配布資料一覧〉

資料1	令和5年度の当部会の取組報告について
資料2	令和6年度の当部会の取組計画について
資料2-1	女性が働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査について
資料2-2	令和6年度女性活躍推進講座について
資料2-3	岩手県建設産業団体連合会との意見交換会について
資料2-4	あおり建設業女性技術者ネットワーク会議との交流会について
資料2-5	令和6年度いわて建設業みらいフォーラムでの取組について
資料2-6	令和6年度工業高校生との意見交換会について
資料3	あおり建設業女性技術者ネットワーク会議について
資料4	建設DX推進事業費補助金制度について

○ 令和5年度の当部会の取組報告について

【取組状況】

1 会議開催

- ・ 第1回（7月12日）：取組内容検討、職場環境改善整備に関する取組状況調査の実施
- ・ 第2回（2月8日）：取組結果検証、次年度以降の取組計画の検討

2 女性が働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査の実施

（実施期間：7月10日～8月10日）

（1）調査の目的

けんせつ小町部会では、建設業界で女性が働きやすい職場環境づくりを目指して、現場見学会や女性技術者等との意見交換を行い、職場においてそれらの取組を実践することで、「誰もが働きやすい職場環境づくり」に取り組んできました。

令和4年度に性別や職域に関係なく誰もが働きやすい建設業界となっていくことを願い、県・建設業団体が取り組む事項について掲げた『提言書』を策定したところです。

これまで部会の取組に参加した建設企業等が、取組事例を参考に、各職場において働きやすい職場環境の整備等に向けてどのような取り組みを実践しているかを把握するため、上記調査を実施し、調査結果を取りまとめました。

（2）経営者の皆様へ～社員の思い～の作成

職場環境改善整備に関する取組状況調査では、環境改善の取組のほかに、女性社員が経営者に対して日頃感じている意見等についても調査を行い、『けんせつ小町部会』から『経営者の皆様へ～従業員の思い～』として作成しました。

作成の目的は、社員が建設業界で長く働いて行くため、また、若者・女性が建設業界に入職・定着していくことを願っての『社員の思い』であり、これらの意見を参考としていただき、更なる職場環境改善が図られることを期待するものです。

3 提言書に掲げる取組の目標の設定

けんせつ小町部会会員企業による「けんせつ小町部会提言書」で掲げた提言を推進するための取組の実施状況を定期的に確認するため、提言書に掲げる取組に「目標」を設定しました。

目標1 『経営者の意識改革』

女性が働きやすい職場環境整備等の取組状況調査において、「働きやすい職場環境整備の取組を始めた」と回答した人数

110 人

目標2 『職場の環境整備の促進、働きやすい企業文化の醸成』

女性が働きやすい職場環境整備等の取組状況調査において、「働きやすい職場環境整備の取組を始めた」と回答した人数

110 人

目標3『建設業のイメージアップ』

建設企業において、女性活躍認定企業又は子育てに優しい企業の認証を受けている企業数

令和5年度の基準値を上回ること（令和5年1月末時点：428社）

4 経営者の皆様へ～社員の思い～の公表

職場環境改善整備に関する取組状況調査に御協力をいただいた（一社）岩手県建設産業団体連合会の会員企業、これまでけんせつ小町部会の活動に参加していただいた建設企業に対して、更なる職場環境改善の取組の参考となるよう、アンケート調査結果と「経営者の皆様へ～社員の思い～」を送付（メールを活用）しました（県ホームページにも掲出）。

5 女性活躍推進講座・事例発表会の開催（8月7日）

本講座は、建設業界で働く女性のスキルアップを図るために開催しており、今年度は女性活躍推進講座と併せて、職員の育児休暇の取得を支援する建設企業や、週休2日制の導入を促進する業界団体の取組について事例発表・意見交換を実施しました。

（1）女性活躍推進講座の内容

現場に従事する技術者に代わり、施工データの整理や書類作成業務を担う新しい職域として、多様な人材の活躍が期待されている「建設ディレクター」の業務内容や活用事例について、（一社）建設ディレクター協会講師による講座を開催しました。（建設企業の経営者等約70名参加）

（2）先進事例発表会 事例発表企業

【事例1】社員の育児休暇取得推進の取組について（株）高福組

【事例2】岩手県電業協会における働き方改革の取組について（株）興和電設

6 いわて建設業みらいフォーラムへの参加（11月1日）

いわて建設業みらいフォーラムは、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割やその魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高めることを目的としたもので、今回で10回目の開催となりました

けんせつ小町部会では、令和2年度から実施している取組として、主に県内の工業高校の生徒を対象に、生徒が抱える建設業に関する様々な疑問を先輩技術者に相談できるコーナーを設置しています。今年度は、上野会長、工藤副会長、木下委員が相談対応を行いました。

参加者からは、「学校の授業ではわからない建設業の仕事（業種）があることを知った。もっと勉強したいと思ったし、建設業に進みたいと思った」、「女性も建設業で働いていること、男性も育児休暇がとれるなど、県内の建設業が変化していることがわかりました」、「普通科の高校なので建設業のことが全くわからなかったが、実際に働いている人の話を聞いて建設業も良いなと感じました」といった感想をいただきました。

【みらいフォーラムでのけんせつ小町部会の対応】



7 工業高校の生徒を対象とした意見交換会（1月22日）

県内建設企業への入職促進を目的に、盛岡工業高校建築・デザイン科2年生を対象に、けんせつ小町部会委員及び女性技術者との意見交換会とDX体験学習会を開催しました。

意見交換会では、5班に分かれて各班に2名の先輩方（管理職、技術職）を配置し、『魅力ある建設業に向けて』をテーマに、意見交換を行いました。

進学前後に自分がイメージしていた「建設業」についての問いに対して、「建築・デザイン科」を専攻した理由として、「デザインを勉強できると思って入学したのに（特に女子生徒）、建築の勉強がメインだったので、思っていたのと違った」といった思いを吐露する生徒が多かったのが、印象的でした。

入学して早々に、期待はずれだったと感じた生徒もいて、勉強にも集中できず、今後の進路にも迷いがあるといった話もでていて、子供たちの率直な意見に対して、先輩技術者や経営者の方からは、思っていたのは違ったかもしれないが、やってみると意外と面白いこと、意外と自分に向いているかもしれない。高校生のうちは、まずは、「やってみるか」といった姿勢で臨むことでもよいのではないかと助言をしてしました。

資格取得について先輩技術者に質問をしている生徒に対して、土木・建築それぞれの分野で必要となる資格はあるが、資格を持つことで出来る仕事の幅が広がること、技術者が資格を取得することで、会社としても対応できる業務範囲が広がることで会社の利益にもつながるので、社員が資格を取ること場合は、全力で応援しているといった心強い発言もありました。

建設業＝3Kのイメージがあるといった発言に対して、建設業も作業にICTを活用することで、安全性を高め生産性を上げることに取り組んでいることがわかったといった感想をいただきました。

最後に、上野会長から「建設業に対して、どんな思いを描いているのか知ることができました。いただいた意見を参考に、これまで以上に誰もが働きやすい建設業を目指し、夢と希望をもって建設業界で働くことができるように取り組んでいきます」とのコメントがありました。

【意見交換会】



【DX体験学習会】



8 その他活動報告

令和5年8月7日：令和5年度第1回いわて女性の活躍促進連携会議に上野会長が出席し、令和5年度のけんせつ小町部会の取組内容や提言書の内容を説明

令和6年2月9日：令和5年度第2回いわて女性の活躍促進連携会議に上野委員が参加し、けんせつ小町部会の取組成果と課題等を説明する予定

9 取組成果及び課題

(1) 取組内容及び参加者数

令和5年度は、年度当初に予定していた取組について概ね実施しました。

女性技術者との意見交換会については、予定していた技術者との調整が整わなかったため、開催見送りとしました。

(単位：人)

令和4年度		令和5年度	
女性活躍推進講座	39	女性活躍推進講座・事例発表会	71
DX体験学習会・生徒との意見交換会	49	DX体験学習会・生徒との意見交換会	45
いわて建設業みらいフォーラムへの参加	2	いわて建設業みらいフォーラムへの参加	3
現場見学会	24		
合計	114	合計	119

(2) 「いわて子育てにやさしい企業等」の認証及び「いわて女性活躍認定企業等」の認定数

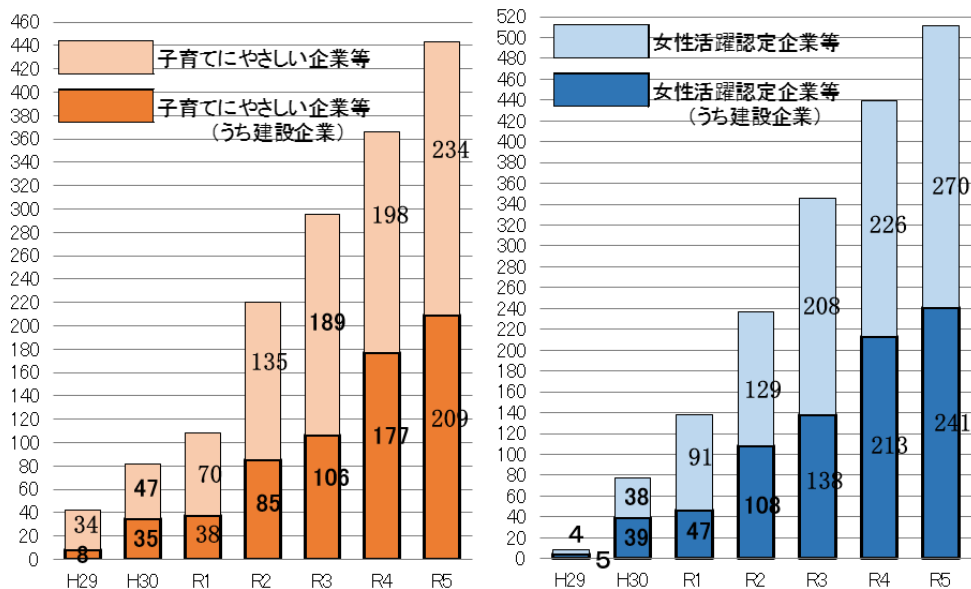
岩手県では、「いわて子育てにやさしい企業等認証」や「いわて女性活躍認定企業等（ステップ1・2）」の認定制度を設置していますが、建設企業において認証・認定を受ける企業が年々増加しています。

令和5年度末の登録企業数は、それぞれ209社、241社となっており、建設企業の意識の醸成が進展していることが分かります。

認定を受けたことでの効果等について、職場環境改善整備に関する取組状況調査でも、「認証を受けるに当たり、社内規程を見直したことで、社長のみならず社員もワークライフバランスを意識するようになった」、「子供の学校行事に参加するため休みを取る職員が増えた」、「定時退社日を設定し、その日は、社長自ら帰宅を促すようになった」といった、回答が寄せられました。

一方で、働きやすい職場環境整備等の取組状況調査の結果から、女性の採用や業務内容の課題として、「性別による業務の割振り」や、「処遇・待遇面の制約」等が指摘されており、若者・女性の活躍促進のため、各企業の更なる改善努力が必要といえます。

「けんせつ小町部会提言書」を踏まえ、引き続き、誰もが働きやすい環境整備を進めながら、建設業の魅力や働きがいなどの発信による、更なるイメージアップが必要です。



【子育てにやさしい企業等及び女性活躍認定企業等の推移】

○ 令和6年度の当部会の取組計画について

1 けんせつ小町部会の活動について

令和4年度に取りまとめた「けんせつ小町部会提言書」に提言書に掲げる、性別や職歴に関係なく「誰もが働きやすい建設業界」の実現に向けて、部会会員企業等の働きやすい職場環境整備の取組状況を定期的に確認することにより、「けんせつ小町部会提言書」に掲げた取組を促進していくとともに、けんせつ小町部会として、経営者や幹部職員等も対象に、女性活躍や意識改革等に関する研修会を引き続き開催していきます。

建設業界全体で、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めていること、誇りとやりがいをもって働くことができる職業であることを、高校生との意見交換会やいわて建設業みらいフォーラムを通して、引き続き周知・PR（イメージアップ）していきます。

『けんせつ小町部会提言書～誰もが働きやすい建設業界を目指して～』

提言 1 建設業界への女性定着に向けた理解の促進

(取組) ・女性定着に関する企業の理解の促進 ・経営者の意識改革

提言 2 働きやすい環境の整備

(取組) ・職場の環境整備の促進 ・風通しの良い企業文化の醸成

提言 3 建設業のイメージアップと情報発信

(取組) ・建設業の魅力とやりがいの発信

2 令和6年度の取組(案)

これまでの取組内容を基本としながら、提言書で定めた取組を実施していきます。

(1) 会議【継続】

- ・ 令和6年度の取組計画・内容の検証
- ・ 提言書に記載した部会・県・建設業界の取組の実施状況を把握し、目標の達成状況を確認

(2) 講習会・研修会・事例発表会【継続】

- ・ 職場環境改善の取組実施状況調査におけるニーズを踏まえた研修会（女性活躍推進講座）の実施
- ・ 研修会の実施と併せて先進事例発表等も併せて開催

(3) 関係団体との意見交換会【新規】

- ・ 岩手県建設産業団体連合会とけんせつ小町部会委員との意見交換の実施
- ・ いわての建設業の次代を担うリーダーと「経営者の皆様へ～社員の思い」をテーマに意見交換の実施

(4) あおもり建設業女性技術者ネットワーク会議との交流会【新規】

- ・ 現場見学会（県内建設現場の見学）
- ・ 青森県の建設業における女性活躍の取組等について、意見交換を実施

(5) 魅力発信の取組【継続】

- ・ 工業高校生等との交流会、いわて建設業みらいフォーラムでの相談対応の実施

〈活動予定〉

期 日	行事名
6月12日	けんせつ小町部会令和6年度第1回会議
7月	提言書の取組実施状況に関するアンケート調査の実施
8月5日	女性活躍推進講座（建設業界で働きやすい職場環境づくり） 建設企業における働き方改革の取組の事例発表
9月～12月	あおもり建設業女性技術者ネットワーク会議との交流会 岩手県建設産業団体連合会との意見交換会
11月25日	「いわて建設業みらいフォーラム」 ・けんせつ小町部会委員による高校生への相談対応 ・パネルディスカッション「建設業界で女性が働きやすい職場環境整備の取組」（仮）の対応
令和7年1月～2月	工業高校生との意見交換会
令和7年2月	けんせつ小町部会令和6年度第2回会議 ・提言書の取組内容に対する目標の取組状況の確認 ・令和6年度の取組実績について ・令和7年度の取組について

令和 6 年度『女性が働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査』について（案）

1 調査の目的

いわて女性の活躍促進連携会議「けんせつ小町部会」では、平成 29 年度から、建設業界で女性が働きやすい職場環境づくりを目指して、女性が活躍する建設現場を見学し、女性技術者等との意見交換を行ったのち、各職場においてそれらの取組を実践することで、『誰もが働きやすい職場環境づくり』に取り組んできた。

これまでの部会の取組事例を参考に、各職場において働きやすい職場環境整備等に向けた取組を進めているか把握するため、アンケート調査を実施するもの。

また、アンケート調査により令和 4 年度に策定した「けんせつ小町部会提言書」の掲げる取組の目標達成状況を把握しようとするもの。

併せて、建設業界で働く女性のスキルアップを図るため、毎年開催している女性活躍推進講座について、建設企業等のニーズに対応した研修を実施するため、希望する研修テーマを確認するもの。

2 調査の内容

- (1) 基本事項について
- (2) 女性が働きやすい職場環境整備の取組状況について
- (3) 女性活躍推進講座の研修内容について
- (4) 県に対する意見・要望について

3 調査対象

けんせつ小町部会会員企業（岩手県建設産業団体連合会の会員企業）約 1,200 社に勤める従業員（経営者・管理職は除く）

※ 回答者の男女、正社員・非正規社員を問わないもの

4 アンケートの回答方法

岩手県電子申請・届出システムから回答する

5 調査の実施期間

7月上旬から8月上旬まで

6 アンケート結果について

アンケート結果は、県ホームページにて公表する他、けんせつ小町部会の取組で活用する。



プレビュー 令和6年度女性が働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査（デモ）

令和6年度女性が働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査（デモ）

1 基本事項について

性別について **必須** 新規追加

当てはまる性別を選択してください。

- 男性
- 女性

選択解除

組織形態について **必須**

貴社の組織形態を選択してください。

- 法人
- 個人

選択解除

本店の所在地 **必須**

貴社の本店の所在地について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 県央広域振興圏（盛岡市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町）
- 県南広域振興圏（花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町）
- 沿岸広域振興圏（宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村）
- 県北広域振興圏（久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）

選択解除

「業種分類」について **必須**

貴社の直前の営業年度における完成工事高を集計した場合、最も完成工事高の多い業種を選択してください。

- 土木工事業（土木一式工事、ほ装工事、しゅんせつ工事、水道施設工事）
- 建築工事業（建築一式工事）
- 設備工事業（電気工事、管工事、機械器具設置工事、熱絶縁工事、電気通信工事、さく井工事、消防施設工事、清掃施設工事）
- 職別工事業（大工工事、左官工事、石工事、屋根工事、鋼構造物工事、鉄筋工事、板金工事、ガラス工事、塗装工事、防水工事、内装仕上工事、造園工事、建具工事、とび・土工・コンクリート工事等）
- その他

選択解除

女性従業員数について **必須** 新規追加

貴社に在籍する女性従業員数について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 0人
- 1人～5人
- 6人～10人
- 11人～15人
- 16人～20人
- 21名以上

選択解除

2 女性が働きやすい職場環境整備の取組状況について

取組状況について **必須**

女性が働きやすい職場環境整備の取組状況について、当てはまるものを選択してください。

- 取組をはじめている
- 特にしていない

選択解除

取組内容について **選択肢の結果によって入力条件が変わります**

※【取組をはじめている】と回答した方のみ対象※

貴社において実践している取組の内容に当てはまるものを全て選択してください。

- 女性活躍認定企業の認定を取得
- 子育てに優しい企業の認証を取得
- ライフイベントに応じた休暇制度の創出（産前産後休暇、育児休暇、子の看護休暇、介護休暇など）
- フレックスタイム制度や短時間勤務制度の導入による勤務時間の柔軟化
- 在宅勤務（リモートワーク・テレワーク）制度の導入
- 再雇用制度（結婚・出産・子育て・介護等への対応）の導入
- 研修制度の導入や研修機会の付与（意識啓発、就業意欲の向上、各種資格取得のための研修など）
- 結婚・出産・育児にあたっての柔軟な配置転換などの取組
- 女性専用共有スペース等の設置（本社又は現場事務所における女子専用トイレ、女性更衣室、パウダールーム等）
- 女性職員による現場パトロールの実施
- 女性に配慮した装具や工具類の導入
- 時間外労働の削減や週休2日制等の推進
- その他

取組を行っていない理由について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

※【特にしていない】と回答した方のみ対象※

貴社において取組を行っていない理由や特殊な事情について、当てはまるものを全て選択してください。

- 女性従業員がいない又は少ない
- 経営者や上司等の理解がない又は少ない
- 育児休業や短時間勤務制度等を取得する従業員をカバーする人的余裕がない
- 女性従業員を雇用する予定がない
- 性別による固定的役割分担に関する無意識の思い込み（例：お茶汲みは女性が行うものという固定概念など）
- わからない
- その他

経営者の反応について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

※【取組をはじめている】と回答した方のみ対象※

取組をはじめるとき、貴社の経営者の反応について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 取組に対して好意的
- 取組に対して消極的
- 特に反応なし又はわからない

選択解除

経営者の意識変化について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

※【取組をはじめている】と回答した方のみ対象※

取組を行ったことで、貴社の経営者の意識変化について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 変化があった
- 変わらない
- わからない

選択解除

経営者の意識変化の内容について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

※【取組をはじめている】と回答した方のみ対象※

貴社の経営者の意識の変化について、具体的にどのような変化・行動が現れましたか。当てはまるものを全て選択してください。

- 「女性活躍推進企業」、「子育てに優しい企業」等の認証・認定を受けた
- ワークライフバランスを意識した働きかけがあった（定時退社、家庭・学校行事への参加推進等）
- 休暇を取得しやすくなった
- 社内規定が見直された
- 女性従業員が採用された
- その他

従業員の反応について **選択肢の結果によって入力条件が変わります**

※【取組をはじめている】と回答した方のみ対象※

取組に対する周囲の従業員の反応について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 取組に対して好意的
- 取組に対して消極的
- 特に反応なし又はわからない

選択解除

今後必要な取組内容について **必須** 新規追加

建設業が性別に関係なく、誰もが働きやすい業界となるために必要な取組、改善すべきことについて、当てはまるものを全て選択してください。

- 経営者の意識改革（経営者自身の性別による差別をなくす、積極的な職場環境改善等）
- 待遇改善（性別による給与や業務内容の違い等）
- 労働環境改善（ライフイベントに合わせた休暇制度の創出や週休2日工事等の働き方改革）
- 就業規則等の改正（柔軟な配置転換、時差出勤、フレックスタイム制の導入等）
- 環境整備（女性に配慮した設備（トイレ・更衣室・装具等）の整備等）
- 従業員の意識改革（性別による差別・無意識の思い込みをなくす等）
- 建設業のイメージアップ（新3K、建設業のイメージアップに係るPR等）
- 女性専用共有スペース等の設置（本社又は現場事務所における女子専用トイレ、女性更衣室、パウダールーム等）
- 女性職員による現場パトロールの実施
- その他

自社に対して改善して欲しいこと

車内における取組の推進に向けて、自社に対して改善して欲しい事項等がありましたら自由に記載してください。

入力文字数： 0 / 500

3 女性活躍推進講座について

女性活躍推進講座の希望テーマ

県及び（一社）岩手県建設業協会では、毎年、建設業における女性活躍推進のため、様々なテーマを取り上げながら「女性活躍推進講座」を開催しています。今後の開催の参考のため、受講を希望するテーマについて、当てはまるものを全て選択してください。

- 働き方改革（働きやすい職場づくりのコツ、ポイント等）
- デジタル技術による生産性向上（社内DX推進のコツ、ICT技術体験等）
- 技術向上（重機等の操作、資格取得講習等）
- 女性のキャリア形成
- 女性管理職養成講座（コーチング・マネジメント等）
- コミュニケーションスキル研修
- ハラスメント研修
- 女性活躍に向けた取組等の事例紹介
- その他

4 その他

県に対するご意見・ご要望

女性活躍の推進にあたり、県に対するご意見・ご要望がありましたら、自由に記載してください。

入力文字数： 0 / 500

閉じる

【システム操作に関する】お問い合わせコールセンター
固定電話コールセンター
TEL : 0120-464-119 (フリーダイヤル)
(平日 9:00~17:00 年末年始除く)
e-MAIL : help-shinsei-iwate@apply.e-tumo.jp
携帯電話コールセンター
TEL : 0570-041-001 (有料)
(平日 9:00~17:00 年末年始除く)
制度等手続きの内容に関するお問い合わせは、
各課担当者へお願いいたします。

令和 6 年度 女性活躍推進講座について（案）

1 目的

働く女性のスキルアップ等を図る講座の実施により、建設業における女性活躍を推進するもの。

2 日時

令和 6 年 8 月 5 日（月） 13：30～16：30（予定）

3 場所

岩手県建設会館

4 研修内容

① 研修テーマ

建設業界で働きやすい職場環境づくり

～働き方改革に待ったなし！人材育成・人材定着に欠かせない職場・現場のコツ～

② 内容

建設業界における課題の一つとして人材不足が挙げられる中、早期離職をなくし、人材を育成していくことが求められている。また、特に若手や女性にとって魅力的な働きやすい職場にしていくことが重要である。本研修では、人材育成のポイントと人材定着に欠かせない職場・現場づくりのコツについて、わかりやすい事例をもとに紹介する。

③ 講師

森川 あやこ

5 県内の建設企業等における働き方改革の事例発表

県内の建設企業等における働き方改革の実践事例について発表していただき、県内事例に対する、意見交換・質疑を行った後、講師から講評をいただく。

① 発表企業数 1～2社程度

② 発表時間 10～15分程度（質疑応答等込み）

③ 発表内容 女性活躍推進や働き方改革等に関する内容

※ 事例発表企業については調整中のため、決まり次第改めてお知らせいたします。

岩手県建設産業団体連合会との意見交換会について（案）

1 目的

いわての建設業の次代を担うリーダーである岩手県建設産業団体連合会会員とけんせつ小町部会会員との意見交換を行い、各社の取組状況や課題を共有、整理することで、建設業界における誰もが働きやすい職場環境整備の促進や女性活躍推進に向けた経営者の意識啓発につなげること。

2 意見交換の進め方

令和6年2月に作成した「経営者の皆様へ～社員の思い～」をもとに、①各社の取組状況、②取組を進めるうえでの課題・障壁について意見交換を行う。

3 開催時期

9月～12月

4 参考（過去の現場見学会・意見交換の取組）

令和4年度までは、県内で女性技術者が活躍する工事現場（土木・建築工事）を見学し、現場の環境整備の取組（快適トイレ、更衣室等の設置）、安全対策や各社独自の対応（女性技術者等の育成に対する取組など）を確認・意見交換を実施した。

あおり女性建設技術者ネットワーク会議との交流会について（案）

1 目的

あおり女性建設技術者ネットワーク会議とけんせつ小町部会との意見交換により、女性活躍に係る取組事例や課題の共有・整理を通じて、本県建設業における女性活躍に向けた更なる取組の推進につなげること。

2 内容

① 現場見学会

杜の大橋（予定）

② 意見交換会

- ・ グループに分かれ、テーマに沿って意見交換を行う。
- ・ テーマ
：各県での取組状況及び課題の発表
若者・女性の担い手確保・建設業のイメージアップ
（建設業の魅力、やりがい、情報発信等企業での取組など）
女性活躍（アンコンシャス・バイアス、働く環境（休暇制度、トイレ等）など）

3 開催場所

盛岡市内

4 開催時期

9月～12月（※日程調整は早めに） 2時間程度（懇親会付き？）

5 参考（令和元年度実施）

- ・ 令和元年度には、北東北3県（けんせつ小町部会、あおり女性建設技術者ネットワーク会議、あきた建設女性ネットワーク）及び土木技術者女性の会と4団体合同で「建設系女性技術者交流会」を八戸市において開催した。
（1日目：梁川ダム建設工事現場見学、建設系女性技術者交流会
2日目：現場見学（八戸地区水産流通基盤整備工事、三沢海岸浸食対策事業）
- ・ 交流会では、各団体の活動紹介や代表者による業務紹介、グループディスカッションを行った。

令和6年度 いわて建設業みらいフォーラムでの取組について（案）

1 フォーラムの開催目的

社会基盤の復興や整備、日常の維持修繕を通じて、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割や、その魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとして、県民の建設業への理解を高めること。

2 けんせつ小町部会の取組

- ・ 展示ブースを設置し、部会の取組や女性職員の活躍状況を紹介するとともに、フォーラムに参加している生徒からの建設業に関する様々な疑問について相談対応を実施する。
- ・ フォーラムの第2部で実施する「パネルディスカッション」で、「建設業界における働きやすい環境整備の取組（仮）」について意見交換を行う予定としており、けんせつ小町部会からもパネラーとして参加し、建設現場及び職場環境整備の状況について説明を行う。

3 開催日等

11月25日（月）トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）大ホール

4 その他

- ・ 参加者として、工業高校、普通高校の生徒に加え、その保護者を参加対象とする。
- ・ 展示ブースの対応者は、昨年度に引き続き、（一社）岩手県建設業協会に所属するけんせつ小町部会委員を中心に、電業協会等の他団体に所属する委員にも対応いただく。

令和 6 年度工業高校生との意見交換会について（案）

1 目的

土木や建築等を学ぶ工業高校生と岩手県の建設業を担う経営者や技術者との意見交換会により、高校生に対し仕事内容や社会における建設業の役割等を紹介し、若年者の建設業への理解及び入職促進を図ること。

2 開催時期

令和 7 年 1 月～ 2 月

3 会場（予定）

盛岡工業高校

4 対象（予定）

盛岡工業高校 1～2 年生（実施対象学科・学年は学校と相談し決定）

5 内容

① グループ討議

- ・ 高校生、女性協議会担当者及び技術者がグループに分かれ、下記のテーマにより討議を行う。
- ・ テーマ
：女性協議会担当者自己紹介、仕事紹介
社会資本整備の重要性・ICT等の最新技術の対応・災害時の対応等
意見交換（入学前後での建設業に対するイメージの変化、質問）
その他

② グループ別生徒発表

- ・ グループ討議を踏まえて、就職に向けた自覚や希望、夢、業界に向けた要望等について、高校生に発表してもらう。

6 備考

東北地方整備局岩手河川国道事務所による「DX体験学習会」が同日開催される可能性があること。

あおり建設業女性技術者ネットワーク会議の活用内容等について

担当部署	県土整備部監理課建設業振興グループ
担当者名	越田 春香
連絡先	(電話番号)017-734-9640 (メールアドレス)haruka_koshita2@pref.aomori.lg.jp

1 貴会（貴会の構成団体）及び会員数について

貴会を構成する組織（団体）及び会員数について教えてください。

あおり女性建設技術者ネットワーク会議は、建設業に携わる女性であれば誰でも会員になることができる。令和6年3月現在の会員数70名。県が事務局を担っている。
※構成団体はなし。

2 活動費用（予算）について

貴会の活動費用（予算）について教えてください。

- ・貴会の活用費用は、会員企業等からの会費で賄われていますか。その他、県又は建設業協会からの支援（補助金）を得ていますか。

- ・設立当初から、県の重点施策事業として実施しており、当会議に係る費用のほとんどは県費となっている。
- ・R5当初予算 4,865千円

3 主な活動内容について

貴会の主な活動内容について教えてください。

【活動方針】

1. 現状把握するための議論・検討を行い、より良い職場環境の提案をしていく事
2. 地域建設業における女性同士のネットワークの連携・情報交換
3. 女性自らが働く姿の発信及び建設業の魅力発信

【令和5年度主な取組】

- ・現場パトロール、現場見学会（計2回）
- ・建設女子ステップアップセミナー（女性技術者ロールモデル、県外先進企業経営者）
- ・建設女子スキルアップ研修（広報力スキルアップ研修）
- ・建設産業の女性を取り巻く環境の実態調査
- ・女性建設技術者ネットワーク会議総会

4 活動の成果・課題等について

これまでの活動の成果及び今後の活動の課題について教えてください。

- ・県内女性建設技術者の情報発信

(次ページへ続く)

5 提言書について

平成 28 年 11 月に策定された『地域建設業における女性活躍推進に関する提言—女性が輝ける地域建設業を目指して—』について伺います。

(1) 提言書を策定するに至った経緯等について教えてください。

女性建設技術者を取り巻く環境の改善につなげる取組を行うため、平成 27 年 10 月に本ネットワーク会議を設立した。

地域建設業を取り巻く状況は、就業者の高齢化が進行し、若手入職者が減少しており、技術や技能に優れた担い手の育成・確保が課題である。

建設企業においても、業務を担う人材がいなければ、事業活動を続けることが不可能であることから、地域建設業の将来にわたる発展のためにも、女性活躍推進が必要であるとの考えのもと、建設業で働く女性一人ひとりが輝き、将来にわたって地域建設業が健全に発展していくことを願って、提言書を作成した。

(2) 提言書の策定前と後での活動状況等の変化について教えてください。

①貴会の活動状況の変化について

提言書の策定にあたり、実態調査を実施し、調査結果の分析を行い、また学生・会員企業からの意見等を研究することで、女性技術者の働く環境や、入職促進のための取組みの課題等を把握することができ、課題に対応する取組を実践していくきっかけとなった。

②提言書に対する建設業界の反応について

提言書を PR するため、提言を発表するフォーラムの開催を行うなど、建設業界への意識啓発を行ったところであるが、提言書及び本会議の認知度を高めるためにも継続して PR していく必要がある。

(3) 提言書の実現に向けて、①一番の課題は何と考えていますか。

また、②その課題解決のためには、どのような対応（取組）が必要と考えていますか。

①提言書の実現に向けての課題について

- ・女性活躍推進に対する建設業界の意識啓発
- ・経営者の意識啓発
- ・建設業への入職促進・定着のため建設業界のイメージアップ

②課題解決のための具体的な取組について

- ・経営者向けの女性活躍推進フォーラムの開催による意識啓発の実施
- ・女性のネットワークの推進と情報発信の強化

<御協力ありがとうございました>

令和5年度 建設業の女性活躍推進の主な取組

○重点事業「建設女子スキルアップ支援事業」

1 出前トーク

団体からの申し込みに応じて、講演を行った。

(一般社団法人 西北労働基準協会青年部)

- ◇ テーマ：「建設業って女性も働けるの？」
- ◇ 日時：5月12日 16:00～16:45
- ◇ 参加者：20名
- ◇ 講演者：(株)ミワ電工 石田 愛氏
ほか県職員1名



2 建設女子による現場パトロール

女性目線で現場環境を点検し、工事現場の安全性向上と環境改善につなげるとともに、建設女子の交流とスキルアップを図ることを目的として、建築工事現場のパトロールを実施した。

- ◇ 日時：6月8日 13:00～15:50
- ◇ 場所：一般県道常海橋銀線 福館～女鹿沢工区
- ◇ 参加者：15名



3 建設女子ステップアップセミナー

建設業で働く女性の就労継続に向けた意識向上及び業界の意識改革を促すことを目的として、女性技術者のロールモデルによる講演、先進的な取組を行っている県外企業経営者による講演を行った。

- ◇ 日時：9月27日 13:30～16:30
- ◇ 場所：東奥日報ビルN^o. ews Cホール
- ◇ 参加者：36名



4 建設女子のための現場見学会

大規模工事に係る技術的知見を得るとともに建設女子としてのモチベーション向上と交流を図ることを目的として、現場見学会を実施した。また、建設女子及びネットワーク会議活動PRのため、県内タレントにも参加してもらい、動画を作成し YouTube で公開した。

- ◇ 日時：10月13日 8:10～16:40
- ◇ 場所：十和田済誠会病院移転新築工事、
十和田市営住宅新築工事
- ◇ 参加者：8名



5 女子生徒と若手技術者との意見交換会

工業高校で建築を学ぶ女子生徒と、現場の第一線で活躍している県内の若手技術者との意見交換会を開催した。

※「高校生と若手技術者との意見交換会」と併催

- ◇ 日時：10月26日 13:05～14:30
- ◇ 対象：県立十和田工業高校 建築科1年生
- ◇ 参加者：女子生徒7名、技術者2名



6 建設女子スキルアップ研修

建設業において、女性が自分に合った分野で力を発揮して充実感を高めるとともに、組織に必要とされる人材となるようスキルアップを支援する研修会を開催した。

- ◇ 建設女子広報カスキルアップ研修
- ◇ 日時：11月30日 13:30～16:30
- ◇ 場所：新町キューブ、Zoom
- ◇ 講師：対馬 慎太郎
- ◇ 委託先：NPO法人あおもりIT活用サポートセンター
- ◇ 参加者：27名（実地20名、オンライン7名）



7 建設産業の女性を取り巻く実態調査

本県建設産業の女性を取り巻く環境等に関する取組について実態調査を実施した。

- ◇ 調査期間：令和6年1月9日～26日
- ◇ 対象社数：1,234社
- ◇ 回答者数：660社
- ◇ 回答率：53.5%

8 女性建設技術者ネットワーク会議総会

- ◇ 日時：令和6年3月8日（金）
- ◇ 14:20～
- ◇ 場所：アップルパレス青森
- ◇ 参加者：27名
（会場26名、オンライン1名）



○女性建設技術者ネットワーク会議幹事会

第1回	令和5年	5月	9日	8名
第2回	令和5年	8月	29日	6名
第3回	令和5年	12月	11日	7名
第4回	令和6年	2月	1日	9名



○ 県内建設業において、働き方改革とともに現場の効率化や安全性について一層の向上を図るとともに、デジタル技術の導入により**建設DXを推進**するため、**建設DX人材育成支援事業**、**生産性向上事業**又は**建設バックオフィスDX推進事業**を行う場合に要する**経費の一部を補助**

➤ 各補助事業の「募集要項」のほか、手続きの流れや各種条件、Q&Aなど最新情報を県HPに掲載しておりますので、各所属の建設DX推進・ICT導入に際しては活用をご検討ください

【岩手県HP】 [トップページ](#) > [県土づくり](#) > [建設業](#) > [新技術・経営革新](#) > 令和6年度「建設業経営力強化支援事業費補助金」及び「建設DX推進事業費補助金」の概要について

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/shingijutsu/1064742.html>

各補助事業の概要は下記及び次スライドのとおり（詳細及び問合せ先は上記HPをご参照ください）

建設DX人材育成支援事業

→デジタル技術を活用できる人材を育成しようとする建設業関係の法人に対し、要する経費の一部を補助

補助メニュー	補助対象経費	補助事業者	補助額（上限額）
ICT建機等の操作研修会やデジタル技術の習得に係る講習会等の開催	謝金、旅費、会議費	法人	50万円



生産性向上事業 (ICT機器導入経費の補助)

→現場の生産性向上に向けてICT機器を導入する企業に対し、ICT活用工事の実施につながり、建設現場における生産性向上に資する機器導入に要する経費の一部を補助

補助メニュー	補助対象経費	補助事業者	補助額 (上限額)
(1) 既存の建設機械へICTを搭載 (後付け) (2D・3D)	MCシステム、MGシステム 等	建設業者等	200万円 (当該経費の2分の1以内の額)
(2) 3D測量機器	3Dレーザースキャナー、自動追尾型トータルステーション、UAV (ドローン)、GNSS受信機 等	建設業者等	150万円 (当該経費の2分の1以内の額)
(3) 3次元設計ソフトウェア	設計ソフトウェア 等 ※令和6年度よりソフトウェアの使用料 (初年度のみ) も補助対象	建設業者等、 建設コンサルタント	150万円 (当該経費の2分の1以内の額)
(4) その他生産性の向上に資する機器等	遠隔臨場システム導入に要する機器、パワーアシストスーツ、VR/ARシステム、3次元配筋検査ツール	建設業者等、 建設コンサルタント	30万円 (当該経費の2分の1以内の額)

建設バックオフィスDX推進事業

→建設業の働き方改革及び生産性の向上を図るため、デジタル技術の導入によりバックオフィス業務のDX推進に要する経費の一部を補助

補助対象経費	補助対象の条件 (①②③の全てを満たす)	補助事業者	補助額 (上限額)
システム導入の初期費用、システム開発費、使用料 (初年度のみ)	① デジタル技術の活用を手段として労働時間削減 (業務効率化) を図るもの ② 特定業務占用のソフトウェアの導入にとどまるものでないこと ③ バックオフィス業務に関連する活用方法であること	建設業者等	50万円 (当該経費の2分の1以内の額)